

法学部第一部

入学から現在までの意識・行動について、法学部では「今の学部に入って良かった」が81.9%で1位、「学祖名を知っている」が80.4%で2位、「基礎学力の不足を痛感する」が70.8%で3位となっています。他学部と比較すると「目標をもって勉学している」「人間性が豊かになった」が16学部中15位と低く、「ぼんやりと過ごす時間が多い」は16学部中2位となっています。

平成18年度から12年間の変化を見ると、「学長名を知っている」が44.7ポイント増、「学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている」が19.4ポイント増と大幅にアップしています。また、「自分の学部に誇りを持っている」学生の比率が12.6ポイント減と大きく減少しています。

図9-1 入学から現在までの意識・行動(上位20位)【法学部第一部】

| | | 平成18年度 からの増減 (ポイント) | |
|----|--------------------------|---------------------------|-------|
| 1 | 今の学部に入って良かった | 81.9% | -3.4 |
| 2 | 学祖名を知っている | 80.4% | 9.8 |
| 3 | 基礎学力の不足を痛感する | 70.8% | 0.2 |
| 4 | 授業に出て良い成績をとりたい | 66.9% | -6.9 |
| 5 | 学長名を知っている | 66.7% | 44.7 |
| 6 | 日大に入って良かった | 64.7% | -9.1 |
| 7 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 64.1% | 7.6 |
| 8 | 学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている | 61.9% | 19.4 |
| 9 | 入学時に卒業後の進路を意識 | 57.7% | 3.7 |
| 10 | 人間性が豊かになった | 55.0% | -1.9 |
| 11 | ボランティア活動を今後してみたい | 54.4% | -2.5 |
| 12 | どうしても東京の大学に入学 | 52.6% | -1.1 |
| 12 | 自分の学部に誇りをもっている | 52.6% | -12.6 |
| 14 | 必要な基礎学力を補習して欲しい | 52.2% | -0.5 |
| 15 | 日大より高い水準の大学を希望 | 51.4% | -1.0 |
| 15 | 勉学意欲がもてるようになった | 51.4% | -9.0 |
| 17 | 目標をもって勉学している | 51.2% | 2.0 |
| 18 | 将来の職業希望がはっきりしている | 51.0% | -0.8 |
| 19 | 自分の学部出身者は社会に有利 | 49.8% | -6.7 |
| 20 | 栄養のバランスに気をつけている | 49.6% | -6.3 |

文理学部

入学から現在までの意識・行動について、文理学部では「今の学部に入って良かった」が72.8%で1位、「学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている」が60.9%で2位となっています。他学部と比較すると、「基礎学力の不足を痛感する」(59.7%)「目標をもって勉学している」(47.8%)が16学部中最も低い点や、「授業に出て良い成績をとりたい」(58.8%)「日大に入って良かった」(56.1%)なども同15位と低くなっています。

平成18年度から12年間の変化を見ると、「学長名を知っている」が36.0ポイント増となっています。一方、「日大に入って良かった」が21.5ポイント減、「日大の良さを認めるようになった」が18.3ポイント減と大きく減少しており、大学に対する評価や帰属意識が弱くなっていることがうかがえます。また、「校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感じる」が12.4ポイント減少しており、安全面の評価が向上しています。

図9-2 入学から現在までの意識・行動(上位20位)【文理学部】

平成18年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 増減(ポイント) |
|----|--------------------------|-------|----------|
| 1 | 今の学部に入って良かった | 72.8% | -4.1 |
| 2 | 学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている | 60.9% | 23.5 |
| 3 | 基礎学力の不足を痛感する | 59.7% | -15.6 |
| 4 | 授業に出て良い成績をとりたい | 58.8% | 1.1 |
| 5 | ボランティア活動を今後してみたい | 57.6% | -2.7 |
| 6 | ゆとりの時間がもてない | 56.3% | 6.5 |
| 7 | 日大に入って良かった | 56.1% | -21.5 |
| 8 | 人間性が豊かになった | 55.7% | -9.1 |
| 9 | 学祖名を知っている | 54.7% | 25.3 |
| 10 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 52.8% | -2.5 |
| 11 | どうしても東京の大学に入学 | 52.0% | 3.0 |
| 12 | 勉学意欲がもてるようになった | 51.6% | 3.8 |
| 13 | 栄養のバランスに気がつかっている | 51.4% | -2.5 |
| 13 | 校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感じる | 51.4% | -12.4 |
| 15 | 学長名を知っている | 50.3% | 36.0 |
| 16 | 入学時に卒業後の進路を意識 | 49.7% | 1.0 |
| 16 | 日大より高い水準の大学を希望 | 49.7% | 11.0 |
| 18 | 日大の良さを認めるようになった | 49.1% | -18.3 |
| 19 | 大学は学生の個人情報に細心の注意を払っている | 48.6% | -2.1 |
| 20 | 目標をもって勉学している | 47.8% | 3.2 |

経済学部

入学から現在までの意識・行動について、経済学部では「今の学部に入って良かった」（70.5%）が1位、「ぼんやりと過ごす時間が多い」（68.9%）が2位となっています。他の学部と比較すると、入学後「勉学意欲がもてるようになった」が16学部中最も低く、「ぼんやりと過ごす時間が多い」「入学してさあ遊べると思った」などは16学部中トップとなっており、勉学に対する意欲面が低くなっているようです。

平成18年度から12年間の変化を見ると、「学長名を知っている」が42.5ポイントの大幅な増加となっています。また、上記にあげた「ぼんやりと過ごす時間が多い」は9.0ポイント増、「入学してさあ遊べると思った」は11.2ポイント増と、増加傾向にあります。「今の学部に入って良かった」が7.1ポイント増加、「創造性が養われた」は11.8ポイント増加と、学部に対する評価などが向上しているようです。

図9-3 入学から現在までの意識・行動(上位20位)【経済学部】

平成18年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 平成18年度からの増減(ポイント) |
|----|--------------------------|-------|-------------------|
| 1 | 今の学部に入って良かった | 70.5% | 7.1 |
| 2 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 68.9% | 9.0 |
| 3 | 基礎学力の不足を痛感する | 68.6% | 1.5 |
| 4 | 授業に出て良い成績をとりたい | 67.4% | 0.6 |
| 5 | 学長名を知っている | 64.4% | 42.5 |
| 6 | 人間性が豊かになった | 62.1% | 3.9 |
| 7 | 学部長名を知っている | 61.4% | 12.1 |
| 8 | 学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている | 60.6% | 22.9 |
| 9 | 日大に入って良かった | 59.5% | -7.6 |
| 9 | 校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感じる | 59.5% | -6.3 |
| 11 | どうしても東京の大学に入学 | 58.3% | -5.1 |
| 11 | ボランティア活動を今後してみたい | 58.3% | 4.5 |
| 13 | 栄養のバランスに気がつかっている | 57.2% | 4.5 |
| 14 | 入学して「さあ遊べる」と思った | 53.0% | 11.2 |
| 15 | ゆとりの時間がもてない | 52.3% | 2.0 |
| 16 | 目標をもって勉学している | 51.9% | 9.8 |
| 17 | 創造性が養われた | 51.5% | 11.8 |
| 18 | 将来の職業希望がはっきりしている | 50.4% | 3.8 |
| 19 | 健康のために運動している | 50.0% | 9.9 |
| 20 | 大学は学生の個人情報に細心の注意を払っている | 48.9% | -3.5 |

商学部

入学から現在までの意識や行動について、商学部では「今の学部に入って良かった」（80.3%）が1位、「学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている」（79.0%）が2位となっています。また、他の学部と比較すると、「学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている」が16学部中3位、「日大ホームページをよく見ている」（41.2%）が16学部中1位と、インターネットを活用した大学の情報取得意欲が高い点も特徴と言えそうです。一方で、入学直後に「日大より高い水準の大学を希望」（56.3%、16学部中トップ）と不本意ながら入学した学生の比率が他の学部より多くなっています。

平成18年度から12年間の変化を見ると、「今の学部に入って良かった」が13.6ポイント増となっています。また、「勉学意欲がもてるようになった」「必要な基礎学力を補習してほしい」も10ポイント以上増加しており、入学後に勉学意欲が高まる傾向が見られます。さらに、平成18年度に「校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感じる」が72.9%で1位でしたが、新校舎が次々と竣工した結果、平成30年度は29.8%と大幅に減少しています。

図9-4 入学から現在までの意識・行動(上位20位)【商学部】

| | | 平成18年度からの増減 (ポイント) | |
|----|--------------------------|-----------------------|-------|
| 1 | 今の学部に入って良かった | 80.3% | 13.6 |
| 2 | 学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている | 79.0% | 32.7 |
| 3 | 基礎学力の不足を痛感する | 68.9% | 6.4 |
| 4 | 授業に出て良い成績をとりたい | 68.1% | 6.0 |
| 5 | 人間性が豊かになった | 67.6% | 9.7 |
| 6 | 日大に入って良かった | 63.0% | -8.7 |
| 7 | 学祖名を知っている | 61.8% | 27.6 |
| 8 | 学長名を知っている | 61.3% | 42.5 |
| 9 | ボランティア活動を今後してみたい | 60.5% | 10.1 |
| 10 | 大学は学生の個人情報に細心の注意を払っている | 60.1% | 11.8 |
| 11 | 勉学意欲がもてるようになった | 58.4% | 10.1 |
| 11 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 58.4% | 2.6 |
| 13 | どうしても東京の大学に入学 | 57.6% | 3.8 |
| 13 | 必要な基礎学力を補習して欲しい | 57.6% | 10.5 |
| 15 | 日大より高い水準の大学を希望 | 56.3% | 5.5 |
| 16 | 栄養のバランスに気がつかっている | 53.4% | -0.8 |
| 17 | 日大の良さを認めるようになった | 52.5% | -12.5 |
| 18 | ゆとりの時間がもてない | 52.1% | 0.8 |
| 19 | 入学時に卒業後の進路を意識 | 51.3% | -1.6 |
| 19 | 自分の学部出身者は社会に有利 | 51.3% | 6.7 |

芸術学部

入学から現在までの意識や行動について、芸術学部では「今の学部に入って良かった」が90.4%と16学部中唯一90%を超えています。次いで「良い影響を受ける教職員に出会えた」が70.8%、「自分の学部に誇りをもっている」が70.5%となっており、入学時の学部や教職員に対する評価、帰属意識が高いことがわかります。他の学部と比較すると、「良い影響を受ける教職員に出会えた」（70.8%）や「創造性が養われた」（67.9%）が断トツ、さらに「自分の才能を伸ばしてくれる」（48.4%）も16学部中2位であり、入学後の満足感も非常に高いことがうかがえます。

平成18年度から12年間の変化を見ると、「自分の学部出身者は社会に有利」が15.6ポイント増加しており、学部に対する評価は高まる傾向にありそうです。また、「着々と勉学の成果をあげている」が10.9ポイント増、「勉学意欲がもてるようになった」が9.0ポイント増加しており、意欲的な取り組みをしている学生の割合が増加していることがわかります。

図9-5 入学から現在までの意識・行動(上位20位)【芸術学部】

平成18年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 増減(ポイント) |
|----|------------------------|-------|----------|
| 1 | 今の学部に入って良かった | 90.4% | 3.6 |
| 2 | 良い影響を受ける教職員に出会えた | 70.8% | 3.7 |
| 3 | 自分の学部に誇りをもっている | 70.5% | 1.9 |
| 4 | 創造性が養われた | 67.9% | 1.1 |
| 5 | 人間性が豊かになった | 67.6% | -2.2 |
| 6 | 基礎学力の不足を痛感する | 64.7% | 2.1 |
| 7 | 勉学意欲がもてるようになった | 64.1% | 9.0 |
| 8 | 日大に入って良かった | 61.5% | -11.6 |
| 9 | 授業に出て良い成績をとりたい | 61.2% | 2.2 |
| 9 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 61.2% | 13.9 |
| 11 | 目標をもって勉学している | 57.4% | -0.4 |
| 12 | 大学は学生の個人情報に細心の注意を払っている | 56.4% | 10.9 |
| 13 | 入学時に卒業後の進路を意識 | 55.4% | -8.4 |
| 14 | 自分の学部出身者は社会に有利 | 54.5% | 15.6 |
| 15 | 自分の学部は今後ますます評価される | 51.6% | 5.5 |
| 16 | 将来の職業希望がはっきりしている | 49.7% | -1.2 |
| 17 | 学部長名を知っている | 48.7% | 17.3 |
| 18 | 自分の才能を伸ばしてくれる | 48.4% | 0.8 |
| 19 | 着々と勉学の成果をあげている | 47.1% | 10.9 |
| 20 | 学内での盗難や器物破損の危険性を感じず | 45.8% | -7.2 |

国際関係学部

入学から現在までの意識や行動について、国際関係学部では「学祖名を知っている」が77.7%で1位、「今の学部に入って良かった」が75.1%で2位、「授業に出て良い成績をとりたい」が70.8%で3位となっています。他の学部と比較すると、「ボランティア活動を今後してみたい」(66.8%)は16学部中トップとなっており、国際的な視点を反映しているのかもしれませんが。また、「必要な基礎学力を補習してほしい」(62.5%)は16学部中1位であり、学力向上を強く望んでいることがわかります。

平成18年度から12年間の変化を見ると、「自分に自信がついた」が16.3ポイント増、「目標をもって勉学している」が13.9ポイント増、「今の学部に入って良かった」が10.6ポイント増と目立っています。学部に対する評価だけでなく、勉学意識も向上していることがうかがえます。また、「学祖名を知っている」が40.3ポイント増と大きな増加幅となっています。

図9-6 入学から現在までの意識・行動(上位20位)【国際関係学部】

| | | 平成18年度からの増減 (ポイント) | |
|----|--------------------------|-----------------------|------|
| 1 | 学祖名を知っている | 77.7% | 40.3 |
| 2 | 今の学部に入って良かった | 75.1% | 10.6 |
| 3 | 授業に出て良い成績をとりたい | 70.8% | 0.4 |
| 4 | 基礎学力の不足を痛感する | 68.1% | -7.7 |
| 5 | ボランティア活動を今後してみたい | 66.8% | 8.2 |
| 6 | 日大に入って良かった | 63.8% | 0.4 |
| 6 | 人間性が豊かになった | 63.8% | 3.0 |
| 8 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 63.1% | 4.2 |
| 9 | 必要な基礎学力を補習して欲しい | 62.5% | -0.7 |
| 10 | 栄養のバランスに気がつかっている | 62.1% | 4.0 |
| 11 | 良い影響を受ける教職員に出会えた | 60.1% | 8.5 |
| 12 | 勉学意欲がもてるようになった | 56.8% | 6.8 |
| 13 | 校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感じず | 56.1% | -7.3 |
| 14 | 目標をもって勉学している | 54.8% | 13.9 |
| 15 | 夕食は一人で食べている | 54.5% | 6.4 |
| 16 | 学長名を知っている | 54.2% | 35.1 |
| 17 | 大学は学生の個人情報に細心の注意を払っている | 53.8% | 4.9 |
| 18 | 創造性が養われた | 53.2% | 17.4 |
| 19 | 将来の職業希望がはっきりしている | 52.8% | 12.2 |
| 20 | 自分に自信がついた | 51.8% | 16.3 |

危機管理学部

入学から現在までの意識や行動について、危機管理学部では「今の学部に入って良かった」が80.4%で1位、「学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている」が75.8%で2位、「授業に出て良い成績をとりたい」が74.0%で3位となっています。他の学部と比較すると、「大学は学生の個人情報に細心の注意を払っている」が61.5%で16学部中最高となっています。また、「授業に出て良い成績をとりたい」（74.0%）「良い影響を受ける教職員に出会えた」（62.3%）、「自分の学部は今後ますます評価される」（54.3%）は16学部中2位となっています。2016年に新設された学部ですが、勉学面での意欲や、学部や教職員に対する評価が比較的高い点が特徴となっています。

図9-1 入学から現在までの意識・行動(上位20位)【危機管理学部】

平成18年度
からの増減
(ポイント)※

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 増減 |
|----|--------------------------|-------|----|
| 1 | 今の学部に入って良かった | 80.4% | — |
| 2 | 学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている | 75.8% | — |
| 3 | 授業に出て良い成績をとりたい | 74.0% | — |
| 4 | 学部長名を知っている | 72.8% | — |
| 5 | 学長名を知っている | 72.5% | — |
| 5 | 学祖名を知っている | 72.5% | — |
| 7 | 基礎学力の不足を痛感する | 68.7% | — |
| 8 | 勉学意欲がもてるようになった | 64.5% | — |
| 9 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 62.6% | — |
| 10 | 良い影響を受ける教職員に出会えた | 62.3% | — |
| 11 | 人間性が豊かになった | 61.5% | — |
| 11 | 大学は学生の個人情報に細心の注意を払っている | 61.5% | — |
| 13 | 日大に入って良かった | 60.8% | — |
| 14 | 自分の学部に誇りをもっている | 60.0% | — |
| 15 | 栄養のバランスに気がつかっている | 58.5% | — |
| 15 | ボランティア活動を今後してみたい | 58.1% | — |
| 17 | 入学時に卒業後の進路を意識 | 57.4% | — |
| 18 | 健康のために運動している | 56.2% | — |
| 19 | 自分の学部出身者は社会に有利 | 54.7% | — |
| 20 | 自分の学部は今後ますます評価される | 54.3% | — |

※2016年新設の学部のため比較データなし

スポーツ科学部

入学から現在までの意識や行動について、スポーツ科学部では「今の学部に入って良かった」が86.5%で1位、「日大に入って良かった」が76.5%で2位、「学長名を知っている」が75.7%で3位となっています。他の学部と比較すると、「日大スポーツの活躍は誇りだ」(66.5%)「日大スポーツを見に行きたい」(63.3%)「日大スポーツの応援に行った」(59.0%)「日大スポーツの情報欲しい」(58.2%)のスポーツに関する4項目については全て16学部中1位となっています。また、「日大に入って良かった」(76.5%)「日大出身者は社会に有利」(51.8%)「日大生であることに誇りをもっている」(48.2%)なども16学部中最高であり、大学への評価や帰属意識が高い点も特徴となっています。

図9-1 入学から現在までの意識・行動(上位20位)【スポーツ科学部】

平成18年度
からの増減
(ポイント)※

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 増減 |
|----|--------------------------|-------|----|
| 1 | 今の学部に入って良かった | 86.5% | — |
| 2 | 日大に入って良かった | 76.5% | — |
| 3 | 学長名を知っている | 75.7% | — |
| 4 | 学部長名を知っている | 72.9% | — |
| 5 | 健康のために運動している | 72.5% | — |
| 6 | 授業に出て良い成績をとりたい | 71.3% | — |
| 7 | 学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている | 69.3% | — |
| 8 | 人間性が豊かになった | 66.9% | — |
| 9 | 日大スポーツの活躍は誇りだ | 66.5% | — |
| 10 | 基礎学力の不足を痛感する | 66.1% | — |
| 11 | 栄養のバランスに気がつかっている | 64.9% | — |
| 12 | 学祖名を知っている | 64.1% | — |
| 13 | 日大スポーツを見に行きたい | 63.3% | — |
| 14 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 61.8% | — |
| 15 | 勉学意欲がもてるようになった | 61.4% | — |
| 16 | 日大の良さを認めるようになった | 61.0% | — |
| 17 | 自分の学部に誇りをもっている | 60.6% | — |
| 18 | 入学時に卒業後の進路を意識 | 59.0% | — |
| 18 | 日大スポーツの応援に行った | 59.0% | — |
| 20 | 自分に自信がついた | 58.2% | — |
| 20 | 日大スポーツの情報欲しい | 58.2% | — |

※2016年新設の学部のため比較データなし

入学から現在までの意識や行動について、理工学部では入学直後は「今の学部に入って良かった」（83.1%で1位）と満足感が高いものの、入学後「基礎学力の不足を痛感する」学生が多くいます（73.3%で2位）。他の学部と比較しても、「基礎学力の不足を痛感する」は16学部中3位と高めとなっています。

平成18年度から12年間の変化を見ると、増加したのは「今の学部に入って良かった」（14.9ポイント増）、「自分の学部出身者は社会に有利」（9.1ポイント増）、「勉強意欲がもてるようになった」（10.1ポイント増）、「目標をもって勉強している」（10.5ポイント増）などであり、学部への評価や勉強意欲が向上しているようです。

図9-7 入学から現在までの意識・行動(上位20位)【理工学部】 平成18年度からの増減(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 増減(ポイント) |
|----|--------------------------|-------|----------|
| 1 | 今の学部に入って良かった | 83.1% | 14.9 |
| 2 | 基礎学力の不足を痛感する | 73.3% | -0.8 |
| 3 | 授業に出て良い成績をとりたい | 68.4% | 2.7 |
| 4 | 日大に入って良かった | 66.8% | 2.9 |
| 5 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 63.9% | 8.0 |
| 6 | 自分の学部出身者は社会に有利 | 62.6% | 9.1 |
| 7 | 勉強意欲がもてるようになった | 59.1% | 10.1 |
| 8 | 人間性が豊かになった | 57.9% | 7.7 |
| 9 | 学祖名を知っている | 56.7% | 34.8 |
| 10 | ゆとりの時間がもてない | 55.8% | -4.1 |
| 11 | 学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている | 53.4% | 21.0 |
| 12 | 目標をもって勉強している | 53.3% | 10.5 |
| 13 | 必要な基礎学力を補習して欲しい | 52.6% | 2.3 |
| 14 | 大学は学生の個人情報に細心の注意を払っている | 52.4% | 11.7 |
| 15 | 自分の学部に誇りをもっている | 51.5% | 5.3 |
| 16 | 日大の良さを認めるようになった | 50.5% | -5.3 |
| 17 | 入学時に卒業後の進路を意識 | 50.4% | -1.7 |
| 18 | 良い影響を受ける教職員に出会えた | 49.1% | 3.3 |
| 19 | 将来の職業希望がはっきりしている | 48.9% | 5.8 |
| 20 | 栄養のバランスに気がつかっている | 48.5% | -1.0 |

生産工学部

入学から現在までの意識や行動について、生産工学部では「今の学部に入って良かった」が74.9%で1位、「学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている」が73.0%で2位、「授業に出て良い成績をとりたい」が70.2%で3位となっています。他の学部と比較すると、「日大の良さを認めるようになった」(58.2%)「創造性が養われた」(53.9%)、「着々と勉学の成果をあげている」(53.0%)が16学部中3位と入学後の大学に対する評価や勉学への意識が高い点が特徴です。

平成18年度から12年間の変化を見ると、「着々と勉学の成果をあげている」(15.0ポイント増)や「今の学部に入って良かった」(14.4ポイント増)をはじめ、学部に対する評価や帰属意識及び入学直後の勉学意欲は、いずれも高まる傾向が見られます。このことは、「基礎学力の不足を痛感する」が8.4ポイント減、「必要な基礎学力を補習して欲しい」が8.2ポイント減少していることからもうかがえます。

| 図9-8 入学から現在までの意識・行動(上位20位)【生産工学部】 | | 平成18年度からの増減(ポイント) | |
|-----------------------------------|--------------------------|-------------------|------|
| 1 | 今の学部に入って良かった | 74.9% | 14.4 |
| 2 | 学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている | 73.0% | 31.0 |
| 3 | 授業に出て良い成績をとりたい | 70.2% | 10.5 |
| 4 | 日大に入って良かった | 67.3% | 0.0 |
| 5 | 基礎学力の不足を痛感する | 66.6% | -8.4 |
| 6 | 勉学意欲がもてるようになった | 62.0% | 12.7 |
| 7 | 人間性が豊かになった | 61.8% | 2.0 |
| 8 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 60.6% | 3.7 |
| 9 | 日大の良さを認めるようになった | 58.2% | 0.3 |
| 10 | 大学は学生の個人情報に細心の注意を払っている | 54.4% | 12.1 |
| 11 | 創造性が養われた | 53.9% | 8.4 |
| 11 | 将来の職業希望がはっきりしている | 53.9% | 10.4 |
| 13 | 目標をもって勉学している | 53.2% | 10.1 |
| 14 | 着々と勉学の成果をあげている | 53.0% | 15.0 |
| 15 | 入学時に卒業後の進路を意識 | 51.8% | 9.5 |
| 15 | 良い影響を受ける教職員に出会えた | 51.8% | 4.4 |
| 17 | 学祖名を知っている | 50.6% | 29.3 |
| 18 | 必要な基礎学力を補習して欲しい | 50.3% | -8.2 |
| 19 | 栄養のバランスに気がつかっている | 49.7% | 2.3 |
| 20 | 将来に希望がもてるようになった | 49.4% | 12.5 |

工学部

入学から現在までの意識・行動について、工学部では「学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている」が80.4%で1位、「今の学部に入って良かった」が79.2%で2位、「授業に出て良い成績をとりたい」が76.0%で3位と他の工学系学部と同様の傾向となっています。他の学部と比較すると、「授業に出て良い成績をとりたい」（76.0%）と「日大の良さを認めるようになった」（61.5%）が16学部中1位と入学直後の勉強意欲の強さや入学後の大学への評価が高いことが目立っています。一方、「基礎学力の不足を痛感する」（75.4%）と「必要な基礎学力を補習して欲しい」（60.9%）が16学部中2位となっており、基礎学力の向上を望む学生が多いことがわかります。また、生活面では「夕食は一人で食べている」（59.9%）「朝食を食べないことが多い」（51.4%）が16学部中最高であり、これは男子学生が9割、自宅外居住が7割という工学部学生の特性によるものと思われます。

平成18年度から12年間の変化を見ると、「将来に希望がもてるようになった」「将来の職業希望がはっきりしている」「勉強意欲がもてるようになった」「目標をもって勉強している」が12.8ポイント～14.7ポイント増加しており、勉強意欲や将来に対する積極的な見方が強まっていると言えます。

図9-9 入学から現在までの意識・行動(上位20位)【工学部】

平成18年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 増減(ポイント) |
|----|--------------------------|-------|----------|
| 1 | 学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている | 80.4% | 25.7 |
| 2 | 今の学部に入って良かった | 79.2% | 15.0 |
| 3 | 授業に出て良い成績をとりたい | 76.0% | 0.8 |
| 4 | 基礎学力の不足を痛感する | 75.4% | 2.1 |
| 5 | 日大に入って良かった | 74.8% | 7.7 |
| 6 | 勉強意欲がもてるようになった | 62.1% | 14.5 |
| 6 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 62.1% | 0.9 |
| 8 | 人間性が豊かになった | 61.8% | 10.3 |
| 9 | 日大の良さを認めるようになった | 61.5% | 3.5 |
| 10 | 必要な基礎学力を補習して欲しい | 60.9% | 1.6 |
| 11 | 夕食は一人で食べている | 59.9% | 6.2 |
| 12 | 大学は学生の個人情報に細心の注意を払っている | 58.7% | 13.4 |
| 13 | 自分の学部出身者は社会に有利 | 58.4% | 6.9 |
| 14 | 目標をもって勉強している | 55.5% | 12.8 |
| 15 | 将来の職業希望がはっきりしている | 55.2% | 13.5 |
| 16 | ボランティア活動を今後してみたい | 52.1% | 9.8 |
| 17 | 日大出身者は社会に有利 | 51.7% | 3.8 |
| 18 | 朝食を食べないことが多い | 51.4% | 6.1 |
| 19 | 創造性が養われた | 51.1% | 14.6 |
| 20 | 将来に希望がもてるようになった | 50.5% | 14.7 |

医学部

入学から現在までの意識・行動について、医学部では「今の学部に入って良かった」が88.9%で1位、「自分の学部出身者は社会に有利」が76.9%で4位、「自分の学部に誇りをもっている」が72.0%で8位ですが、他の学部と比較すると、上記の3項目はいずれも16学部中1位となっています。学部に対する評価や帰属意識が非常に高い点が特徴です。生活面に関しては「健康のために運動している」(64.9%)「栄養のバランスに気をつけている」(64.4%)「午前0時前に寝ている」(34.2%)がそれぞれ16学部中2位と食事・運動・睡眠に留意する一方、「週3日以上は酒類を飲む」(28.4%)は16学部中トップ、「タバコを吸っている」(23.1%)は16学部2位と高くなっているのが気になります。

平成18年度から12年間の変化を見ると、「着々と勉学の成果をあげている」「将来に希望がもてるようになった」「勉学意欲がもてるようになった」が7.4~15.7ポイント増と、勉学意欲や将来への積極的な見方が強まっているようです。

図9-10 入学から現在までの意識・行動(上位20位)【医学部】

| | | 平成18年度 からの増減 (ポイント) | |
|----|------------------------------|---------------------------|------|
| 1 | 今の学部に入って良かった | 88.9% | 4.4 |
| 2 | 校舎内で火災・地震等発生時の 安全性に不安を感じず | 80.9% | 1.7 |
| 3 | 学祖名を知っている | 80.4% | 23.9 |
| 4 | 自分の学部出身者は社会に有利 | 76.9% | 7.3 |
| 5 | 学部長名を知っている | 76.0% | -1.8 |
| 6 | 将来の職業希望がはっきりしている | 75.1% | -1.2 |
| 7 | 入学時に卒業後の進路を意識 | 74.2% | -7.0 |
| 8 | 自分の学部に誇りをもっている | 72.0% | -0.5 |
| 9 | 目標をもって勉学している | 70.2% | -2.7 |
| 10 | 基礎学力の不足を痛感する | 69.3% | -0.3 |
| 11 | 学長名を知っている | 68.9% | 39.9 |
| 12 | 学内での盗難や 器物破損の危険性を感じず | 65.8% | 4.9 |
| 13 | 勉学意欲がもてるようになった | 64.9% | 7.4 |
| 13 | 健康のために運動している | 64.9% | 5.5 |
| 15 | 栄養のバランスに気をつけている | 64.4% | 4.5 |
| 16 | 将来に希望がもてるようになった | 63.6% | 9.0 |
| 17 | 人間性が豊かになった | 63.1% | 6.1 |
| 18 | 着々と勉学の成果をあげている | 58.2% | 15.7 |
| 19 | 大学は学生の個人情報に 細心の注意を払っている | 57.8% | 17.2 |
| 20 | ゆとりの時間がもてない | 57.3% | -9.8 |

歯学部

入学から現在までの意識・行動について、歯学部では、元歯学部長である「学長名を知っている」が87.2%で1位となっています。次いで「学祖名を知っている」が81.0%で2位となり、学長・学祖の認知度の高さを知ることができます。「入学時に卒業後の進路を意識」が78.1%で4位、「目標をもって勉学している」が76.9%で5位、「将来の職業希望がはっきりしている」が76.4%で6位と、卒業後、歯科医師になるなど、将来を見据えて勉学に励む学生の姿が浮き彫りになっています。他の学部との比較では、上記にあげた5項目はすべて16学部中トップであり、医歯系学部の中でも職業意識が高い点の特徴となっています。

平成18年度から12年間の変化を見ると、「学長名を知っている」が69.7ポイント増、「学祖名を知っている」が55.8ポイント増と認知率が大幅にアップしています。また、「勉学意欲がもてるようになった」が13.4ポイント増、「着々と勉学の成果をあげている」が18.0ポイント増加しており、入学後、勉学に対する意欲が向上しているようです。

図9-11 入学から現在までの意識・行動(上位20位)【歯学部】

平成18年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 平成18年度からの増減(ポイント) |
|----|--------------------------|-------|-------------------|
| 1 | 学長名を知っている | 87.2% | 69.7 |
| 2 | 学祖名を知っている | 81.0% | 55.8 |
| 3 | 今の学部に入って良かった | 78.5% | 5.7 |
| 4 | 入学時に卒業後の進路を意識 | 78.1% | -2.5 |
| 5 | 目標をもって勉学している | 76.9% | 2.6 |
| 6 | 将来の職業希望がはっきりしている | 76.4% | 6.0 |
| 7 | 学部長名を知っている | 74.4% | 1.1 |
| 7 | 校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感じず | 74.4% | -3.8 |
| 9 | 自分の学部出身者は社会に有利 | 73.1% | 9.5 |
| 10 | 学内での盗難や器物破損の危険性を感じず | 71.9% | 2.0 |
| 11 | 勉学意欲がもてるようになった | 70.7% | 13.4 |
| 12 | 授業に出て良い成績をとりたい | 68.2% | 10.4 |
| 13 | 基礎学力の不足を痛感する | 64.5% | -6.4 |
| 14 | 日大に入って良かった | 62.4% | -2.2 |
| 15 | ゆとりの時間がもてない | 61.6% | -2.5 |
| 16 | 栄養のバランスに気がつかっている | 61.2% | 2.0 |
| 17 | 着々と勉学の成果をあげている | 60.7% | 18.0 |
| 18 | 良い影響を受ける教職員に出会えた | 58.3% | 1.0 |
| 18 | 自分の学部に誇りをもっている | 58.3% | -4.3 |
| 20 | 将来に希望がもてるようになった | 57.0% | 10.9 |
| 20 | 人間性が豊かになった | 57.0% | -2.2 |

松戸歯学部

入学から現在までの意識・行動について、松戸歯学部では「将来の職業希望がはっきりしている」が74.5%で2位、「入学時に卒業後の進路を意識」が71.7%で3位、「勉学意欲がもてるようになった」が70.3%で5位と、歯科医師としての将来像を明確に描いて入学し、勉学に励んでいる学生が多いことが特徴となっています。他の学部と比較すると、上記の意識や態度は16学部中高め(各3位・3位・2位)であり、職業意識が高い傾向が見られます。

平成18年度から12年間の変化を見ると、学祖名の認知率が47.6ポイント増、「学長名を知っている」が34.3ポイント増と大幅に増加しています。また、「校舎内で火災・地震等発生時の避難方法を知っている」が32.7ポイント増加し60.8%と、16学部中斷トツであることから、安全面においても意識が高いことがうかがえます。

図9-12 入学から現在までの意識・行動(上位20位)【松戸歯学部】

| | | 平成18年度 からの増減 (ポイント) | |
|----|------------------------------|---------------------------|-------|
| 1 | 学祖名を知っている | 76.9% | 47.6 |
| 2 | 将来の職業希望がはっきりしている | 74.5% | -1.8 |
| 3 | 入学時に卒業後の進路を意識 | 71.7% | -9.4 |
| 4 | 学部長名を知っている | 71.2% | -10.7 |
| 5 | 勉学意欲がもてるようになった | 70.3% | 11.3 |
| 6 | 目標をもって勉学している | 69.8% | -0.1 |
| 7 | 基礎学力の不足を痛感する | 68.9% | -0.2 |
| 7 | 学内での盗難や 器物破損の危険性を感じる | 68.9% | 1.4 |
| 9 | 今の学部に入って良かった | 67.9% | 2.8 |
| 10 | 授業に出て良い成績をとりたい | 64.2% | 4.4 |
| 11 | 校舎内で火災・地震等発生時の 避難方法を知っている | 60.8% | 32.7 |
| 12 | 日大に入って良かった | 60.4% | -1.0 |
| 13 | ゆとりの時間がもてない | 57.1% | -8.0 |
| 14 | 将来に希望がもてるようになった | 56.1% | 4.3 |
| 15 | 大学は学生の個人情報に 細心の注意を払っている | 55.7% | 6.3 |
| 16 | 学長名を知っている | 55.2% | 34.3 |
| 17 | 人間性が豊かになった | 53.8% | -6.8 |
| 18 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 53.3% | 1.1 |
| 18 | 夕食は一人で食べている | 53.3% | 12.3 |
| 20 | 必要な基礎学力を補習して欲しい | 51.9% | 8.1 |
| 20 | 自分の学部出身者は社会に有利 | 51.9% | -7.9 |
| 20 | 健康のために運動している | 51.9% | -3.9 |

生物資源科学部

入学から現在までの意識・行動について、生物資源科学部では「今の学部に入って良かった」が84.7%で1位、「日大に入って良かった」が68.4%で3位と、入学直後の学部や大学に対する満足感が高くなっています。他の学部と比較すると、「目標をもって勉強している」（48.9%）が16学部中14位、「将来の職業希望がはっきりしている」（46.9%）と「自分の学部出身者は社会に有利」（41.5%）は同15位となっており、将来の進路について思案する学生が多いことがうかがえます。

平成18年度から12年間の変化を見ると、「学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている」（62.6%）が28.7ポイント増となっています。また、「日大に入って良かった」（68.4%）が10.1ポイント減、「日大の良さを認めるようになった」（54.2%）が11.8ポイント減となっており、日大帰属意識が弱まる傾向が見られます。他には、「基礎学力の不足を痛感する」（71.8%）が9.8ポイント減、「必要な基礎学力を補習してほしい」（48.7%）が13.5ポイント減となっています。

図9-13 入学から現在までの意識・行動(上位20位)【生物資源科学部】

平成18年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 増減(ポイント) |
|----|--------------------------|-------|----------|
| 1 | 今の学部に入って良かった | 84.7% | 2.6 |
| 2 | 基礎学力の不足を痛感する | 71.8% | -9.8 |
| 3 | 日大に入って良かった | 68.4% | -10.1 |
| 4 | 授業に出て良い成績をとりたい | 63.5% | 0.5 |
| 5 | 学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている | 62.6% | 28.7 |
| 6 | ボランティア活動を今後してみたい | 62.4% | -0.6 |
| 7 | 勉強意欲がもてるようになった | 62.1% | 11.9 |
| 7 | 人間性が豊かになった | 62.1% | -1.8 |
| 9 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 59.8% | 8.8 |
| 10 | 栄養のバランスに気がつかっている | 57.1% | 4.0 |
| 11 | 大学は学生の個人情報に細心の注意を払っている | 55.0% | 8.5 |
| 12 | 日大の良さを認めるようになった | 54.2% | -11.8 |
| 13 | 学長名を知っている | 53.5% | 41.2 |
| 14 | 入学時に卒業後の進路を意識 | 52.9% | 1.5 |
| 15 | 自分の学部に誇りをもっている | 51.3% | -3.9 |
| 16 | 良い影響を受ける教職員に出会えた | 50.2% | 0.2 |
| 17 | ゆとりの時間がもてない | 49.4% | 2.0 |
| 18 | 目標をもって勉強している | 48.9% | 2.0 |
| 19 | 必要な基礎学力を補習して欲しい | 48.7% | -13.5 |
| 20 | 将来に希望がもてるようになった | 47.3% | 8.6 |

薬学部

入学から現在までの意識・行動について、薬学部では「学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている」が79.7%で1位となっています。また、入学直後「今の学部に入って良かった」が79.5%で2位、「自分の学部出身者は社会に有利」が68.1%で6位と、学部に対する評価が高い傾向が見られます。他の学部と比較すると、「日大の良さを認めるようになった」「日大生であることに誇りをもっている」などは16学部中最下位であり、日大に対する評価は低くなっています。また、「基礎学力の不足を痛感する」(76.6%)が16学部中1位、「ゆとりの時間がもてない」(60.5%)が16学部中2位と高くなっています。

平成18年度から12年間の変化を見ると、「学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている」が60.5ポイントの大幅な増加となっている点が目立っています。また、「今の学部に入って良かった」が7.8ポイント減、「日大に入って良かった」が8.4ポイント減、「授業に出て良い成績をとりたい」が12.2ポイント減となっており、日大や学部に対する帰属意識や勉学に対する意欲がやや弱まる傾向が見られます。

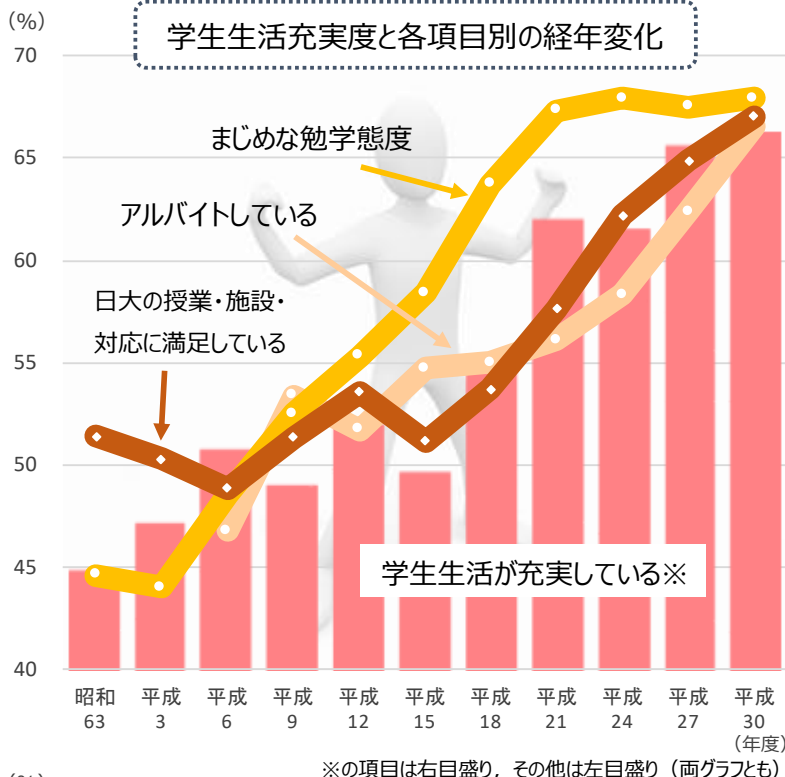
図9-14 入学から現在までの意識・行動(上位20位)【薬学部】

平成18年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 平成18年度からの増減(ポイント) |
|----|--------------------------|-------|-------------------|
| 1 | 学部のホームページ・ポータルサイトをよく見ている | 79.7% | 60.5 |
| 2 | 今の学部に入って良かった | 79.5% | -7.8 |
| 3 | 基礎学力の不足を痛感する | 76.6% | -1.6 |
| 4 | 目標をもって勉学している | 72.7% | 6.8 |
| 5 | 入学時に卒業後の進路を意識 | 69.4% | -5.7 |
| 6 | 自分の学部出身者は社会に有利 | 68.1% | -4.4 |
| 7 | 勉学意欲がもてるようになった | 65.5% | 7.4 |
| 7 | 学部長名を知っている | 65.5% | 0.4 |
| 9 | 将来の職業希望がはっきりしている | 64.4% | 7.6 |
| 10 | 学祖名を知っている | 61.8% | 40.8 |
| 11 | ゆとりの時間がもてない | 60.5% | -1.9 |
| 12 | 自分の学部に誇りをもっている | 60.3% | -6.1 |
| 13 | 日大に入って良かった | 59.7% | -8.4 |
| 14 | 必要な基礎学力を補習して欲しい | 59.5% | 1.4 |
| 14 | 学長名を知っている | 59.5% | 39.4 |
| 16 | 授業に出て良い成績をとりたい | 59.0% | -12.2 |
| 17 | 大学は学生の個人情報に細心の注意を払っている | 58.7% | 0.6 |
| 18 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 58.2% | 6.7 |
| 19 | 人間性が豊かになった | 55.6% | 0.1 |
| 20 | 栄養のバランスに気がつかっている | 52.7% | -0.6 |

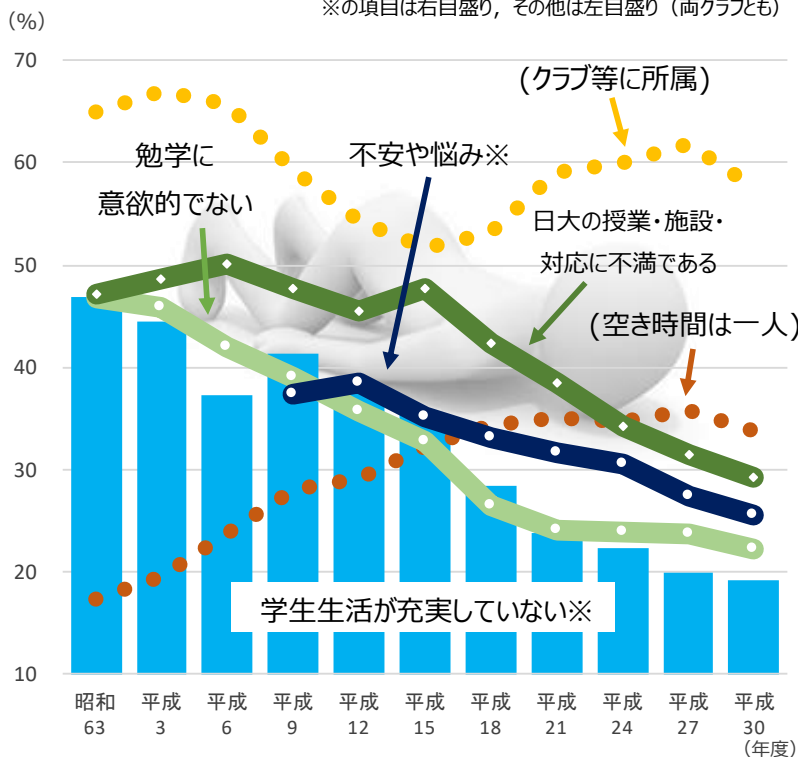
学生生活を充実させるものは

学生生活充実度と各項目別の経年変化



(%) 左記の2つのグラフは学生生活を充実させるものについて見たグラフです。まず上のグラフでは、「学生生活が充実している」と回答した学生の割合は年々増加傾向にあり、平成30年度では46.2%となっています。何が充実感の増加に寄与しているでしょうか。「まじめな勉強態度」「日大の授業・施設・対応」の満足度も同様の増加傾向を示しています。やはり学ぶ姿勢と、大学が提供するキャンパス環境は、学生生活を充実させることと大きな関係があることを示していると言えるでしょう。また、アルバイトをしている学生も同様に増加しており、忙しく働くことが充実度に寄与しているようです。

一方、下のグラフからもわかるように、「学生生活が充実していない」学生は減少傾向にあります。これと同じ傾向を示している項目は上のグラフと同様、「勉学に意欲的でない」「日大の授業・施設・対応に不満である」となっています。上のグラフに関する分析を裏付ける内容であると言えます。また、様々な「不安や悩み」がある学生も同様に減少していることも学生の充実感と何らかの関連がありそうです。



(%) 空き時間を一人で過ごす学生は全体の3割に及んでいます。スマートフォンや、SNSなど様々なコミュニケーションツールの急速な普及により、学生間のコミュニケーションの方法が多様化し、空き時間に過ごす人数や友人関係のあり方に変化が生じてきているようです。また、「クラブ等に所属している」学生の割合は、本調査が開始された昭和63年度以降、上下動しています。この結果を見た限りでは、空き時間を友だちと過ごすかどうかや、クラブ等に所属しているかどうかは、学生生活の充実度にそれほど関係がないようにも思えます。

グラフの解説：◆『まじめな勉強態度』は「授業はもちろんのこと、さらに自主的なテーマを設定して積極的に勉強」「教科書・ノートを中心として、必要な単位を修得」の%の合計。『勉学に意欲的でない』は「授業よりはむしろ、人生・社会の問題や、課外活動に取り組んでいる」「試験が近づくと他人のノートのコピー等を利用して適当に済ませている」「ただ何となく過ごしている」の%の合計

◆『日大の授業・施設・対応に満足している』は、日本大学の授業・施設・対応・サービスに関する全41項目において

『満足している』『どちらかといえば満足している』という回答を合計したものの平均。一方の『～不満である』は同じ項目における不満層の41項目の平均。

◆『不安や悩み』は入学以来今までの不安・悩み・問題（トラブル）の種類に関する全17項目の平均